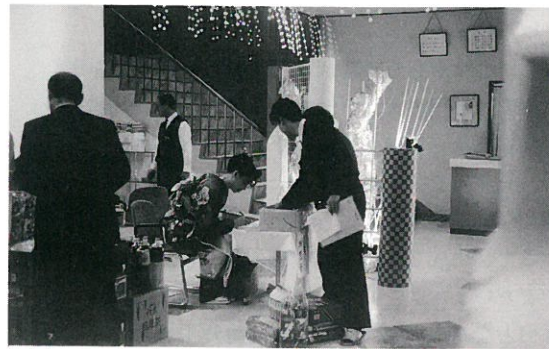


# 初 荷 初 市 風 景

金沢問屋センター繊維同業会（八田隆年会長）吉例の初市は1月9、10日の両日、各社会場にて行われた。

ここ数年続いている暖冬傾向。今シーズンも11月から12月にかけて暖かい日が続き、特に洋品に関しては冬物商品の売れゆきが今ひとつ芳しいものではなかったようである。

さて、お客様との顔合わせの意味もあるこの売出し、来客数は例年並みであるが、呉服業界では相変わらず好調な加賀友禅を主体に、この初市で今年1年の良いスタートをきれたようである。



# 金問屋センターニュース 1991.1 No. 49

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎37-8585 ●発行者/小川甚次郎



## 更なる飛躍の為に

（協）金沢問屋センター  
理事長 小川甚次郎

皆様、明けましておめでとうございます。平成三年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。  
さて、昨年一年を経済面で振り返ってみますと、前半は日本の経済は順調に拡大を続け好景気にささえられ、消費も大幅に伸び、我々流通業にとっても好調に推移致しましたが、後半に入りイラク、クウェート紛争による原油価格の高騰や、たび重なる公定歩合引き上げによる金利高により、経済面では驕りの感がする一年であったと思います。今年の景気は、今申し上げた要素や深刻化する人手不足など楽観できない要因が多々ありますが、我々はより積極的な営業展開をはかり流通業の役割が大きく変化している時代に即応すべく努力して参りたいと存じます。  
さて、本年度の組合運営につきましては、次に申し上げる三つの事業を中心として組合員各位の期待に応えられるよう強力に進めたいと存じます。

一つめは、卸主導VAN会社の運営であります。流通変革に対応すべく昭和61年より情報化問題に取り組み、昨年8月に新会社(株)ヴァンガード金沢を組合員の皆様方や金融機関、北国インテックサービス(株)のご協力により設立いたしました。今後は、多数の小売店とオンライン化を図ることが地域経済に活性化を与え、ひいては安定した会社経営にむすびつきますので、全力をあげて小売店とのネットワーク化を推進し、地域流通情報の担い手となるよう取り組んで参ります。

二つめは、団地の再整備事業の推進であります。当団地も完成以来23年を経過しましたが、将来に対処するには再整備事業が必要であり、昨年度は計画書を石川県へ提出してあり、これが認められれば今年度より3年計画で実施のはこびとなります。

三つめは、雇用促進事業団の人材確保事業の推進であります。益々厳しくなる人手不足に対応するため、昨年より3ヶ年計画で人材確保にあたっての問題点を総合的な角度から調査、検討しており、雇用環境に係る諸問題の改善を図ることにより、安定した雇用を確立すべく努力して参ります。いずれの事業も、組合員各位の積極的参加が大前提でありますので、絶大なご理解、ご協力をお願い申し上げます。

尚、本年は選挙の年であります。2月の石川県知事選挙、4月には県会と市会議員の選挙が行われます。私共問屋センターが常々大変お世話になっている諸先生方の圧倒的勝利を心から祈念致します。

終わりにあたり、本日ご臨席の皆様には問屋センターの更なる飛躍の為に、組合員各位におかれてはより一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



# '91 新年互礼会



恒例、協同組合金沢問屋センターの新年互礼会は、1月4日午後2時より金沢流通会館大ホールパルスにおいて来賓、組合員270名が参加して開かれた。

国歌斉唱に引き続き、小川理事長から「今年は楽観できない要因が多々あるが、変化の時代に即応すべく努力して行きたい」と挨拶があった。

次いで、中西県知事、山出市長、森衆議院議員、沓掛参議院議員、北村商工会議所副会頭より祝辞を賜り、末岡市議会議員の発声の下に乾杯を行い祝宴に移った。美妓のお酌で話がはずみ、宴たけなわの処、干田市議会議員の音頭で万歳三唱し、本年も盛況の内に終了した。



## 年男大いに語る

### 年令と仕事



丸西食品工業(株)  
会長 西谷弘次

自分の干支がかえって来た。  
久しぶりだ。懐かしい気がする。しかし、還暦という字を見るとそうはいかない。  
又、別だ。いよいよ来たかと淋しい気持ちにもさせられる。  
人生、五計のうち、老計を考えねばと身近に感じ考えさせられている。

城山三郎の文章に「ハッピーリタイアメント、これからいよいよ六十歳の人生が開けてるのだ」と力強く語っていたのも記憶に新しいところだ。  
しかし、自分はどうかだろうか。  
中国の古いことばを借りれば、「行年五十にして四十九年の非を知り、六十年にして六十化す」といことばがあるが、還暦を迎えて、このことばが実感

として身に迫って来る今日この頃である。

今老計を考える時、六十にして五十九年の非を知り、反省しきりである。

早めに職を譲り身も軽く次の人生を計画したが、現実はその夢と裏腹に五十九年の非のみが、重くのしかかって来る。

フランスの社会学者が、幸福なアメリカ人にその幸福の所以を聞いた時彼等は“I have a job.”(私



## …初 夢…

君！ 今年の新入社員予定者はおもにどこの大卒かね。

ハイ！ これからの流通を学ぶ為問屋センターが中心となって出来た『金沢流通大学』です。

そうか。しかし今ごろの若者は、汚い、重いという仕事が嫌いな奴らが多いというじゃないか。

ハイ！ 大丈夫です。問屋センター出資のVAN会社“リズムネット”と連動したハイテクによる『全自動化物流センター』がありますから、若者はハイテクには魅力がありますからね。

そうかそうか。しかし週休2日制じゃ長続きしないだろうなァー。

いや！ 大丈夫です。能登島に問屋センター管理の『ログハウス』が20戸もありますからね。休みには社員は家族連れで余暇をエンジョイしていますよ。

そうかそうか。でも会社周辺の環境はどうかね。

なにをおっしゃいますか。大学が出来たおかげで、周辺には若者対象の様々な物ができ、駅西第一の繁華街が出来たではないですか。しかも、大店法改正の時代の波にのり、組合員各社のアンテナショップ

には仕事がある」と答えた。人は常に意義のある感激の仕事に打ち込めてこそ幸福がある。

海老は何度もかたい皮をぬいで新しく成長して行く。海老の慶事は、単に腰がまがるまでということではなく、重なる脱皮による成長をいうのである。

私も五十台の皮をぬいで新しい水にふれ、六十台七十台、脱皮をし続けるつもりでいる。

島田商事(株)

社長 島田良造

として参画している問屋センター主導の『大ショッピングセンター“KTS”』もあり、問屋町近郊はベッドタウン化が進み、金沢駅西口から問屋町と金沢港循環の駅西モノレールが有るではありませんか。これほどまでに発展したのに、まだ何かいいそうですね。

本当の意味での環境問題はどうなっているかね。

ハイ！ 環境汚染問題になくてはならない全てのものが浅い川河畔を中心に完備され、しかも、その周辺は『KTSの森』といわれている今までにない自然美豊かな森があり、恋をする若者や家族連れの姿が、いつもたえない素晴らしい環境があります。

そうか、それは大変良いことだ。しかし、当社はどうか。

ハイ！ この素晴らしい環境にあって当社も業界の中でもユニークな卸売業として今、全国から早く支店を出すように要望が殺到しているのが現状です。どうか、一日でも早く要望に答えるべきではないでしょうか。



## リードするシェトランド・シープドッグのように

カトー産業(株)

社長 加藤肇夫

知れません。

仕事の面で「羊のように」では温和すぎて情けない。

ここは多くの羊を一匹で統御する「牧羊犬のように」といきたいものである。

確かな嗅覚、敏捷な動作で、ともすれば迷いがちな小羊(商談)を、或る時は先頭に立ちリードし、

ある時は後ろから追いかけ廻し、柵内(成約)に導く、そんな牧羊犬の集団となりたい。



## 最近の中国の経済の現状

(株)大沢商店

社長 大沢忠之

新しい年に当り、何となく気になる、隣国中国の最新の情勢について、大まかな分析をして見ました。

この5年間(1985~1990年)の中国のGNPは平均7.6%、国民所得は7.2%、工業生産は12.4%、農業生産は4.2%と増加している発表がされている。輸出入の総額は、最近3年間は1千億ドルを超え、世界貿易における地位は現在(1990年度)14位である。なお現在中国は経済過熱、物価上昇、インフレが激しく、10年前のレートが1円=100円、平均給料50円が、現在1円=27円、大学卒新任給料が80円、労働者平均給料が250円で所得の面は数の上からやや微増になっているが、インフレの面から消費生活は実質かなり押さえられている様だ。

1990年現在、実動外国企業総数1万7千余社(合弁を含む)、総投資額は385億ドルに達している。その内、日系企業は約1,200社(合弁を含む)総投資額は22億ドルであり、1989年度比較増は44%である。中国の貿易の窓口は国务院特区になっており、現在14の経済自由区、12の特別経済区を整備し、新しい外国企業の誘致に国を上げて力を入れている。中国国内への外国企業の原材料の持込関税は無税で、完成製品の持出関税も無税である。なお完成製品は中国国内の諸事情から、全品持出が義務付けられている。又中国が優先必要とする企業は、中国の将来に重要なハイテク・コンピュータ関係、バイオの部門である。

中国は全部国有地で私有地を認めていないので、外国企業も全部借地である。借地代は平均1㎡1.5円で、輸送力の乏しい内陸部では土地代を10年間無料の所も設けられている。(例 ハルビン地区etc)



## 皆んな仲よく群れを成す

糸生(株)

社長 小阪邦弘

1991年の新春を皆様と共に迎えたことを心から感謝いたします。皆様様の益々のご多幸を心からお祈り申し上げます。

おかげさまで4回目の年男を迎えるにあたり一言希望を述べさせていただきます。世界は今激動の中にあります。冷戦状態にあった米ソ二大強国が対立

から対話、協調への道を歩み始めました。その影響で東欧諸国に民主化、自由化の波が吹き荒れてきました。その象徴が東西ドイツの統一でありました。

このように東西の対立構造が崩れ、世界は新しい方向に向けて進み始めた矢先に、突如イラクによるクウェートへの侵攻という事態が起きました。

今回の中東問題に象徴されるように地域問題、民族問題、宗教問題等による紛争が後を断たないと予測する人も少なくありません。

一方、現在の世界が直面している最も深刻な問題の一つに地球環境の破壊問題があります。

幸いにしてわが国は世界の人達が羨しく思う程の経済力と繁栄を持続しており、国際社会での存在感が、ますますクローズアップされつつあります。

昨年とはODA（政府開発援助）がほぼ世界一になるなど、まさに21世紀を目前にして日本は世界的な課題に対して何が出来るか、日本人一人ひとりは何をすべきか、その真価が問われるときだと思えます。

そこで私自身、国際人・日本人のひとりとしての自覚と責任の上に立って反省をしてみたいと思えます。

昨年6月に発表されました総理府の「社会意識調査」によりますと、多くの日本人が経済的には豊かさを感じているが精神の貧困化が進んでいると分析されるような報告が発表されました。「政治、経済、社会等の分野において自分本位、自己中心的で無責任である。相手の立場を軽視する。他のことは無関心である」というのです。

この答えはまさに私のことを指して述べているものと身が小さくなる思いでございます。この変革の時に未年がめぐって来たことも何か因縁と有難く受

け取めて本年の新たな決意とさせていただきますと思えます。

古来より「羊」は神聖な生き物と考えられていたそうです。羊は大勢が仲よく「群れ」を成しております。その群れを成している様子を見て、羊は「善い」性格の持主であるから皆さんと仲よくけんかもせず群れを成して生活することが出来ると理解したのです。そのように羊の精神的シンボルとして「善」「群」という字が出来上っていると諸先輩から教えて頂きました。もし私達一人ひとりが「皆んな仲よく群れを成す」の協調、対話、貢献、奉仕等の平和に向けての不変の精神に基づく善い心使いになって少しでも「相手の立場を思いやる」の理念を発揮すれば、各国・各自のエゴイズムは克服出来、他から信頼され、親しまれる国際人、日本人に成れるものと確信いたします。

永い歴史において利己主義、自己中心の国や家、人達が永続して栄えた証はありません。この地球に住む人類だれしもが願っている永続の繁栄、平和の保障の戦略は一人ひとりがエゴイズムを克服し、他に貢献、奉仕する、その実践の道を歩んだ国や人が得られるものであると歴史は我々に語ってくれております。

最後に私、自己中心の自分を大いに反省をし、羊の持つシンボル「善」「群」の意味を大切に「日々善い心になって皆んな仲よく、明るく、元気に群れを成すに努力する。をモットーに勇気を持って進んで参りたいと決意いたします。

本年も何卒よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。本年も何卒よろしくごあいさつをさせていただきます。

## 平成三年の経済見通し

金沢信用金庫間屋町支店

支店長 森 佑

あけましておめでとうございます。

皆様お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は政治・経済においては、内外共に激動の年であったと思われれます。国外にあっては、東欧経済の混迷、東西ドイツの統一、ソ連の市場経済移行における混乱と政情不安、イラクのクウェート侵攻による中東湾岸危機勃発、アメリカの景気後退があり、国内においては、株暴落とバブル経済崩壊、日米構造協議における430兆円の公共投資決定、地価高騰全国に拡大、公定歩合引き上げ6.0%等々が挙げられます。

しかしながら日本経済は、消費と設備投資を中心に内需主導型の大型景気拡大基調により、実質経済成長率5.2%実績見込みとなり、「岩戸景気」(42ヵ月)を抜いて、戦後最長の大型景気「いざなぎ景気」(57ヵ月)に挑戦することとなりました。

さて、平成3年の日本経済の見通し、ということですが、91年も引き続き消費と設備投資が牽引となり内需主導型の景気が持続すると考えられますが拡大基調は鈍化し景気は減速すると思われれます。金融の引き締めと金利高、株価低迷、原油高等により過去3年連続して前年比2桁台の伸びであった設備投資が新年度は6%前後となり、又住宅着工戸数は8.1%減と住宅投資がマイナスに転ずると予測されるのが主因とかがえられます。一方物価が安定しインフレ懸念が無くなり、為替相場が円高基調(91年度予想1ドル=125前後)となれば4月にも公定歩合・金利引き下げとなり、株価回復(91年度予想25,000~28,000円)により設備投資が再び拡大する可能性が大きいと考えられます。平成3年度予算の政府案70兆3,474億円となり公共事業費伸び率6%増にて減速局面にある景気を下支えする「景気中立型」となっており、平成3年度の政府経済見通しの実質成長率は3.8%となっています。

以上の様に平成3年の日本経済は不況感なき調整期にあると言えますが、不確定要因として中東湾岸紛争の最悪ケース(軍事衝突)、アメリカのリセッション

ョン(景気後退)の状態等が本年の日本経済の見通しを困難にしているのも事実であります。

さて、話題を日本経済に戻しまして景気の牽引力であります個人消費と設備投資について説明致しますと、先ず、個人消費面ですが、新年度増加率予想は4.12%と90年度より若干スローダウンしますが、構造的人手不足が続き今年度雇用者所得は5%増加が予想され、消費者物価予想率は2.6%となっており地価の値下がりも消費を拡大する効果があり、景気の下支えの役割を果たすと考えられます。

次に、設備投資面ですが、金融引き締めと高金利、株価低迷によるエクイティファイナンス(新株発行を伴う資金調達)の困難により、設備投資計画を繰延べする企業が相次ぎ、特に中小企業にとっては高金利負担が重く設備投資が困難となっており増加率は6%前後にダウンするとの見方に集約されるも、設備投資の基礎ベースはここ数年で大きくなっており、日本経済の成長の原動力になっていると考えられます。更に、人手不足に対応する省力化投資や研究開発投資には依然として根強いものがあり、金利引き下げや株価回復となれば設備投資が再び拡大すると考えられます。

但し、上記2つの牽引力は中東湾岸危機が軍事衝突となれば一時的にせよ原油価格が1バーレル=50~60ドルに暴騰しインフレ懸念が occo、金利も高止まりとなり、両者共悪化し、景気も一層鈍化し本年後半に原油価格1バーレル=20ドル台になるを待つ回復基調となると予想されます。

以上、平成3年度の日本経済は景気循環における調整期にあると同時に、不確定要因のある不透明な年にあり、企業にとっては体質改善の年である様に思われます。

最後になりましたが、組合員の皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げますと共に、私ども金融機関をとりまく環境には、益々厳しいものがありますが、皆様との共存共栄の理念のもと、少しでもお役に立つべく最大の努力をいたしますので、本年も何卒よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

### きもので乾杯!!

### おめでとう フェスティバル

1月15日、金沢ニューグランドホテルで「きもので乾杯!!おめでとうフェスティバル」(主催・石川県和装振興会)が行われ、新成人約300名が参加した。

今人気の高橋兄弟をゲストに迎えて、サイン会やゲームの他、豪華景品の当たる抽選会もあり、盛りだくさんの内容であった。

